

訪問理美容 どんなサービス？

介護の

33



年を重ねても、髪をきれいに整えたいと思う人は多いでしょう。最近では理容師や美容師が高齢者宅や施設に出張する訪問理美容が広がっています。外出が難しくても、自宅でカットやパーマなどのサービスが受けられます。

(藤本綾子)

■店舗外でOK
「散髪のために出かけるのは一苦勞。訪問してもらえば本当にありがたい」

滋賀県米原市の女性(53)は昨年から、同居する父親(87)の散髪を、NPO法人日本理美容福祉協会講師で滋賀米原センター代表の仲谷由美子さん(52)に依頼している。父親は以前、車を運転して約30分かけて理髪店に行っていたが、認知症の症状が見られるようになり、一人で通うのが難しくなった。

10月には半年ぶりにカットを依頼。居間に新聞紙を敷いて髪を切ってもらっていた10分ほどの間、父親は終始穏やかに会話を楽しみ、仕上がると「気持ちよくなった。ありがたいなあ」と喜んだ。女性も「高齢者への対応に慣れた人が来てくれるので、安心してお願いできます」と話す。理美容師が店舗外で業務を行うことは原則、法律で禁止されているが、外出が難しい人向けにサービスを提供する

出かけず散髪心もすっきり

ことは認められている。

訪問理美容は、理容師か美容師の資格があればできるが、独自に研修や資格認定の制度を設ける団体がある。研修内容は団体によって異なるが、介護に関する基礎知識や、高齢者や障害者らへのサービスの実習などが中心だ。例えば、日本理美容福祉協会では、自宅学習と2日間の実技講習を修了した人を「福祉理美容士」に認定する。

このほか、ヘルパーなど介護に関する資格を個人で取得している理美容師もいるので、依頼先を選ぶ時の参考にしたい。万が一の事故に備え、事業者が損害保険に加入していることも確認しておこう。

■自治体補助も
料金は事業者によって異なるが、カットの場合2000〜4000円程度。ベッド上

で行うと別途加算があったり、交通費がかかったりすることもあるので、予約時にしっかりと確認する。カット以外にシャンプーやパーマ、カラーなどを実施するところも多い。

介護保険は使えないため全額自己負担になるが、神戸市や大阪府茨木市など一部の自治体では利用料や出張費を補助する制度を設けている。ただ、要介護度などの条件があるので、確認が必要だ。

近くで訪問してくれる事業者があるか分からない時は、ケアマネジャーらに尋ねてみよう。

予約時に病気や心身の状態を伝えておくと、当日の作業がスムーズになる。「急に怒り出すことがある」「手が出るかもしれない」「うつ気味で悲観的になっている」などの情報も役立つ。仲谷さんは「気持ちに寄り添いながら接するためにも、些細なことでも言っておきたい」と話す。

認知症の人の場合、突然、



訪問理美容を依頼できる事業者を探したい時には…

- これまで通っていた理美容院に出張が可能か聞いてみる
- ケアマネジャーや役所の窓口で尋ねる
- 各都道府県的美容組合では紹介しているところがあるので、問い合わせる
- 全国で訪問理美容を行う団体に問い合わせる(一部地域では紹介できないこともある)

NPO法人日本理美容福祉協会
03-6903-3055

NPO法人全国介護理美容福祉協会
03-3379-0111

など

男性の自宅でカットをする仲谷さん(右、滋賀県米原市で) ←
=仲谷さん提供